



共同自主研究発表会

● 関門地域における産業観光振興の取り組み

国際商学科 2年 松本 悠汰

(福岡県立東鷹高等学校出身)

昨年12月の共同自主研究発表会において、私たちは関門地域における産業観光の振興について発表しました。今回の発表に行き着くまでに様々な課題にぶつかりましたが、無事に発表を終えることができました。発表を終えて、反省点が2点ほど出てきました。

1つ目は、スケジュール管理ができなかったことです。12月の発表に向けて、私たちが具体的な活動を始めたのは、秋学期が始まった10月からでした。研究をすすめる中で、産業観光に関する文献調査や、北九州・下関両市役所へのヒアリング調査など、やるが多々ありました。ヒアリング調査では、事前に相手方に提出する質問票を作成するのに時間を費やしてしまいました。そのため、発表会までに満足のいく結論を出すことができませんでした。今振り返っても、これは、自分たちの取りかかりの遅さが原因だったと、反省しています。このことを踏まえ、最終報告に向けて、冬休み中にメンバーでしっかりと議論し、まとめと考察を作成しました。

2つ目は、分かりやすい発表ができなかったことです。他の人たちの発表と比較し、実感しました。他の発表者は簡単に要点をまとめ、スライドを表示していましたが、私たちのグループは、スライド中の文章が多かったため、こちらの伝えたいことが伝わっていませんでした。伝えたいことを、簡潔に要点だけに絞るべきでした。

共同自主研究を通し、今後の課題が見つかりました。これから始まる専門演習や、社会に出た時のためにも、これらの点を改善していきたいと思います。また同時に、この研究活動に参加したことで、レジュメ作成やプレゼン能力など、基礎演習で学んだ能力を更に発展させることもできたと思います。共同自主研究は、自分自身の成長に非常に有意義なものになりました。



● シーモール下関専門店街における若者集客の方策について

経済学科 2年 浪本 さお里

(愛媛県立松山北高等学校出身)

経済学科の専門科目に、「経済地理学」という科目がある。その科目の中で、少子高齢化による地方の過疎化について学んだ。授業内容がきっかけになったことと、今後更に少子高齢化が進む中で私達若者目線の意見が大切であると考え、下関発展の力になればと思いシーモール下関専門店街における若者集客の方策について研究した。

その中で私達が行った提案は「フードコート設置」であった。この提案の理由は、若者がシーモール下関商店街1階のファストフード店をよく利用している姿が見られるが、ファストフード店ごとに店舗が分離している。これを一カ所にまとめるフードコートを設置すれば、より多くの若者集客につながると考えた。そして、それを検証するため大学内の学生を対象にアンケートを行った。

アンケートの結果から、フードコートの需要が高いことが分かった。また、ファストフードが並ぶフードコートだけでなく、ドーナツやクレープやアイスなどのスイーツ店、カレーやうどんなどの軽食を扱うお店などもあったらいいという意見も明らかになった。

しかし、研究をすすめる上で大変なことも多くあった。最初は、何をすればシーモールの若者集客につながるのか、あるいは下関市自体の人口が減少している上に、郊外のショッピングセンターや北九州・福岡に客が流れて行っているのではないかと等、考えさせられることも多くあった。また、若者のニーズが多様化していることにも悩まされた。若者の意見と言っても、簡単にまとめることはできないのだと改めて実感させられた。

だが、「フードコートの設置」という案に落ち着いた。私達の提案がシーモールに少しでも活かされて、更なる若者集客が実現し下関の活性化にもつながってほしいと考える。



●インターンシップ報告会 准教授 難波 利光

(キャリア副委員長)

11月21日(木)16時30分から、学生、教職員、受入事業者関係者など約120名が参加して、インターンシップ報告会が開催された。報告会では、全体発表会と討論会の二部構成で行われた。

全体発表会では、インターンシップに参加した学生のうち、43名がPowerPoint等による報告を行った。国内・海外事業者で得られた貴重な就業体験についての報告があった。報告は、行政関係と企業関係および国際の3つの教室で行われた。学生の報告は、インターンシップの貴重な経験から得た知識と自分の就職に対する自己分析が行われ、仕事に対する意識の向上に繋がったと考えられる。

また、学生の報告に対して受入事業者による学生への忌憚のないアドバイスは、将来学生の成長に繋がることであろう。インターンシップは、学生と受入事業者との親密な関係を築くと共に、大学と地域とを結ぶ貴重な機会でもある。個の繋がりを多く持つことにより、多くの方々、学生一人ひとりを地域の方々と育てる基盤を形成することにも繋がることを期待する。



ださい。人の悩みはいつの時代も同じです。その解決方法は本にすべて書かれています。」とお話しされたことが印象深く残っています。

こうした社会人の方からの意見は普段聞けないため、本当に有意義な講義でした。



●内定者懇談会に参加して

公共マネジメント学科 3年 金田 拓也

(富山県立水橋高等学校出身)

私が内定者懇談会に参加しようと思ったきっかけは、内定をいただいた先輩方の就職活動中の貴重な体験談が聞ける機会はなかなかないため、就職活動への臨み方等、自らの就職活動に活かすことができると思い参加しました。

様々な先輩方の話を聞いてみて感じたことは、大きく3つあります。1つは、自分自身に何かしらの芯を持って就職活動を行うということ。2つ目は、様々な情報を仕入れて就職活動を行うのは非常に大切ではあるが、情報に振り回されてはいけないということ。そして3つ目は、就職活動を行っているときは必ず辛い時があるが、決して前向きな気持ちを失わないということです。

これらを踏まえて、私も先輩方のように笑顔で後輩に自らの経験を伝えることができたらしいなと思っています。



●学内合同業界研究会

上野 恵美

(キャリアセンター長)

11月14日(木)、15日(金)、18日(月)、19日(火)の4日間、全学年の学生を対象として、学内合同業界研究会を行いました。

このイベントは、就職活動を控えた3年生はもちろんのこと、1・2年生においても、世の中にはどんな業界があり、どのような仕事があるのかを知ってもらいたいという趣旨で実施しています。本来ならば、学生自身が動き研究をすべきところですが、企業ごとに訪問するためには時間とお金がかかります。そこで、本学卒業生が活躍している企業を中心に、学内での業界研究会を開催しています。今年度は、100社の担当者の方にお越しいただき、のべ846名の学生が参加し、非常に有意義なものとなりました。



●市大キャリアスタディに参加して

経済学科 3年 守田 拓人

(九州学院高等学校出身)

私が11月30日(土)に開催された市大キャリアスタディに参加した理由は、就職活動に向けて、なんとなく、就職イベントに参加したいという軽い気持ちからでした。しかし参加したことで、就職活動への思いはとてもしつこいものになりました。

今回のキャリアスタディでは社会人2年目の先輩方8人からお話を聞くことができました。とてもアットホームな雰囲気での就職活動への不安を聞いてくださいました。また、自分たちが就職活動をする際に何を大切に行動したかなど、とてもリアルな就職活動のお話を聞くことができ、これから始まる就職活動へのモチベーションが高まりました。

もし、私がこのキャリアスタディに参加していなかったら、漠然と就職活動を行っていたのではないかなと思います。私もこのキャリアスタディでお会いした先輩方のように就職活動を精一杯頑張り、後輩たちのお手本となるような社会人になりたいと思います。



●キャリア概論を受講して

国際商学科 3年 詫間 大輔

(自由ヶ丘高等学校出身)

この講義は、実社会で活躍する社会人の方々が講師として登壇されます。

学生は就職活動において自己アピールをする際、アルバイトやサークル、ゼミなどの活動・功績を前面に出そうとしますが、それはあまり意味が無いとおっしゃる方がいました。企業はその学生が、「どんな活動、どんな功績を挙げたか」よりも「どんな人物で、何を考えているのか」を知りたいということでした。よって、社会人の方々から「学生時代に何を思い、何をやったか」という体験談をお話いただいたことは、本当にためになりました。特に、キャンノンの方の「学生のうちにたくさん本を読んでく

平成 25 年度の就職状況について

全国の平成26年3月大学卒業予定者の平成25年12月1日時点での就職内定率は、前年同期に比べ1.6ポイントの上昇となり、これで3年連続の改善となっています。これは、景気回復による企業の採用計画の好転も影響していると言えます。

一方、本学の学生については、平成26年1月末日時点で、全国平均を上回る内定率で推移しています。この要因の一つとして、本学への求人数がリーマン・ショック以前の水準まで回復していることが挙げられます。内定先を業種別にみると、例年通り金融・保険が最も多く全体の29%を占めており、次いで小売業13%、商社11%となっています。また本年度は、男子の就職内定率が現時点で前年より上昇していることが、特徴として挙げられます。



教授 高橋 和幸
(キャリア委員長)

平成 25 年度就職状況 (就職内定企業一覧)

金融・保険	丸三証券(株)	㈱GSユアサ	フルサトグループ	㈱ミスターマックス	山口合同ガス(株)	㈱築港
日本銀行	㈱かんぽ生命保険	ユタカ電業(株)	㈱丸菱	㈱ホンダカーズ山口	㈱ピートラップ	㈱日立物流
㈱みずほフィナンシャルグループ	住友生命保険相互会社	㈱コムックス	三井物産鋼材販売西日本(株)	山口日産自動車(株)	㈱ホテルまつや	㈱ムロオ
㈱三井住友銀行	第一生命保険(株)	尾道造船(株)	三菱電機住環境システムズ(株)	㈱ユナイテッドアローズ	飯石森林組合	㈱柳川合同
㈱阿波銀行	日本生命保険相互会社	スズキ(株)	㈱ムトウ	夢展望(株)	建設・不動産	㈱松岡
㈱伊予銀行	三井生命保険(株)	日本海洋産業(株)	㈱本宮商会	㈱ヨドバシカメラ	㈱穴吹工務店	山茶中外込有限公司
㈱大分銀行	明治安田生命保険相互会社	ユニキャリア(株)	ヤマエ久野(株)	ラオックス(株)	㈱一条工務店	情報・通信
㈱鹿児島銀行	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	アイリスオーヤマ(株)	㈱山善	㈱ローソン	㈱エスケーホーム	アイエックス・ナレッジ(株)
㈱北九州銀行	損害保険ジャパン日本興亜(株)	カワノ工業(株)	山忠商店(株)	㈱ワールドストアパートナーズ	エルクホームズ(株)	㈱I2C
㈱紀陽銀行	全日信販(株)	コトブキ製紙(株)	ユアサ商事(株)	サービス・その他	岡崎建工(株)	医療システムズ(株)
㈱熊本銀行	㈱日専連ベネフル	三甲(株)	㈱ランドサイエンス	日本年金機構	関門港湾建設(株)	㈱インフォテックノ朝日
㈱四国銀行	三菱UFJニコス(株)	敦賀セメント(株)	リコージャパン(株)	㈱九州リースサービス	九州ノザウ(株)	㈱インフォメックス
㈱十八銀行	全国共済農業協同組合連合会	㈱フィールズ	㈱AOKI	太陽建機レンタル(株)	セキスイハイム九州(株)	㈱ウイズ・ソフトウェア
㈱親和銀行	全国農業協同組合連合会	㈱ブラッツ	㈱アプライド(株)	㈱西日本総合リース	セキスイハイム中四国(株)	㈱エイム
㈱中国銀行	大分県農業協同組合	イオンリテール(株)	イオンリテール(株)	㈱ホームケアサービス山口	積水ハウス(株)	㈱エス・エス・アヴェニュー
㈱鳥取銀行	岡山山西農業協同組合	アイティーアイ(株)	㈱イズミ	㈱安全保護員センター	創建ホーム(株)	㈱エム・オー・エム・テクノロジー
㈱西日本シティ銀行	香川県農業協同組合	明石屋(株)	㈱エーピーシー・マート	㈱インテリジェンス	大和ハウス工業(株)	㈱ALL CONNECT
㈱百十四銀行	下関農業協同組合	旭日産業(株)	エクラFC(株)	上海新聯康投資顧問有限公司	タマホーム(株)	㈱オプト
㈱広島銀行	徳島市農業協同組合	㈱アステム	㈱エイブリー	㈱日本マネジメント協会	東建コーポレーション(株)	㈱キャストKSBパートナーズ
㈱福岡銀行	土佐くろしお農業協同組合	㈱池田ハルク	㈱オーゾス	㈱はれコーポレーション	㈱ないずリフォーム	㈱キューマックス
㈱もみじ銀行	福岡県農業協同組合	伊藤忠エネクス(株)	岡山ノバル自動車(株)	レスグループ	㈱フット	クラウドゲート(株)
㈱山口銀行	福山市農業協同組合	㈱井上商会	嘉穂無線(株)	大谷山荘	前田道路(株)	㈱システム・コンサルタンツ
㈱琉球銀行	真庭農業協同組合	ウメトク(株)	㈱クリエイトエス・ディー	㈱あざんビジネスロー	三菱電機ビルテクノサービス(株)	㈱昭和システムエンジニアリング
㈱愛媛銀行	日本フィナンシャルセキユリティーズ(株)	㈱ACN九州	㈱クロスカンパニー	㈱くらこコーポレーション	㈱銘建	㈱ゼン情報システムズ
㈱香川銀行	㈱保険ひろば	㈱ACN中国	小倉興産エネルギー(株)	㈱サイゼリヤ	㈱安成工務店	㈱ソフネット
㈱西京銀行	製造	㈱エグシス	㈱ココカラファイン	スターバックスコーヒー(株)	㈱アーネストワン	東和ハイシステム(株)
㈱徳島銀行	イオンフードサプライ(株)	㈱エゴア	㈱コスモス薬品	㈱トリドール	アップル不動産(株)	日本オフィス・システム(株)
㈱トマト銀行	㈱伊藤園	大西商事(株)	㈱コメリ	広島駅弁当(株)	穴吹興産(株)	日本ビジネスアート(株)
㈱富山第一銀行	㈱岡山西村屋	小野建(株)	㈱サンドラッグ	㈱プレナス	㈱穴吹コミュニティ	ネットワンシステムズ(株)
㈱長崎銀行	北九食品加工(株)	カイトック(株)	㈱山陽メディアサブライズ	㈱レイホールディングス(株)	㈱穴吹ハウジングサービス	㈱フアリコムコミュニケーションズ
㈱福岡中央銀行	クロボー製菓(株)	片山鉄建(株)	㈱ジェイアイエヌ	㈱ゼンショーホールディングス	㈱アンサー倶楽部	㈱富士通山口情報
㈱豊和銀行	三幸製菓(株)	㈱ガリバーインターナショナル	㈱ジャパネットたかた	㈱ASAKA	㈱エストラスト	㈱山口情報処理サービスセンター
㈱みなと銀行	㈱大光食品	㈱カワニシ	㈱新日記薬品	㈱イデックスオート・ジャパン	㈱合人社計画研究所	㈱ラドックス
㈱南日本銀行	日本食研ホールディングス(株)	㈱キシヤ	㈱すこやか工房	㈱ウィルプラス	㈱三福ホールディングス	㈱南日本リビング新聞社
九州労働金庫	北海道コカ・コーラボトリング(株)	九州日東精工(株)	㈱セブン-イレブン・ジャパン	㈱ABC Cooking Studio	㈱セイコー不動産	㈱アイテム
中国労働金庫	リクロー(株)	キョートーシステム(株)	㈱スタートトゥデイ	㈱岡山スポーツ会館	㈱大新館	㈱湯羽
日生信用金庫	明石被服興業(株)	㈱研文堂	㈱大進本店	㈱ハズレジャーグループ	大東建託(株)	㈱アド・スーパー・プレーン
阿南信用金庫	㈱ジーベック	㈱弘法	㈱タカミヤ	共立総合整骨院	大和リビング(株)	㈱オーティス
尼崎信用金庫	大塚包装工業(株)	㈱サガマツ	㈱つるや	㈱サニックス	㈱東急コミュニティ	㈱ウィック福岡
愛媛信用金庫	サンシヨウ(株)	㈱サンキ	㈱東急ハンズ	サン府中スイミングスクール	㈱東武住販	㈱グッドサイクルシステム
大分みらい信用金庫	㈱アステックペイントジャパン	㈱サンコー	トヨタカラー山口(株)	㈱JSV	㈱ハウスドック	㈱ジェネス
鹿児島信用金庫	クオレ(株)	㈱さんれいフーズ	㈱トライアルカンパニー	㈱JTB関西	㈱不動産のデパートひろた	㈱ビジネスアシスト
岐阜信用金庫	㈱再春製菓所	四国アルレッサ(株)	㈱ドラッグストアモリ	㈱JTB中国四国	㈱三好不動産	扶桑電通(株)
熊本第一信用金庫	四国化成工業(株)	四国ガス燃料(株)	ナチュラ(株)	㈱イーピーエム	リスト(株)	公務
呉信用金庫	ゼリア新業工業(株)	㈱シモセン	㈱ナフコ	㈱ゾーン	㈱ワイ・ケイ興産	静岡県高等学校教諭
しまなみ信用金庫	高田製菓(株)	㈱新出光	日本ライフサポート(株)	㈱テイクアンドギブ・ニーズ	運輸・郵便	陸上自衛隊
但馬信用金庫	テルモ山口(株)	末松九機(株)	ネットヨタ山口(株)	㈱トーカイ	日本郵便(株)	大分県庁
玉島信用金庫	㈱ネップ	スターティア(株)	㈱八天堂	㈱職スコレ・コーポレーション	岩崎産業(株)	鹿児島県庁
但陽信用金庫	久光製菓(株)	㈱ゼクセル販売九州	㈱明屋書店	㈱パース	池田興業(株)	福岡県庁
鶴来信用金庫	藤本製菓(株)	㈱たけびし	㈱ハローズ	㈱バイオテック	大分バス(株)	井原市役所
鳥取信用金庫	王子ゴム化成(株)	㈱玉井歯科商店	㈱ハローネット	㈱ベンチャーバンク	亀の井バス(株)	北九州市役所
中国信用金庫	㈱アルミネ工業	中国木材(株)	㈱ビップ・エス	㈱ポピワーク	九州旅客鉄道(株)	堺市役所
播州信用金庫	高周波熱線(株)	都築電機(株)	㈱ビッグモーター	名鉄観光サービス(株)	倉敷運輸(株)	佐世保市役所
広島信用金庫	㈱長府製作所	東海製粉(株)	㈱兜空呼	㈱マシタコーポレーション	鴻池運輸(株)	湯前町役場
福岡ひびき信用金庫	特殊電極(株)	東空販売(株)	㈱ファイブフォックス	㈱ユアアイ・ベルミニ(株)	㈱サカイ引越センター	愛知県警察本部
大分県信用組合	日本ラック(株)	㈱ドーワテクノス	福岡トヨタ自動車(株)	㈱ラウンドワン	㈱ジェイアール西日本マルニックス	大阪府警察本部
広島県信用組合	㈱北川鉄工所	常盤薬品(株)	㈱フジ	㈱リクルート・ゼクシィなび	シモハナ物流(株)	岡山県警察本部
広島市信用組合	岡野パルプ製造(株)	㈱豊通マシナリー	㈱富士薬品	㈱KDDIエポルバ	セコンコ(株)	鹿児島県警察本部
福岡県中央信用組合	㈱タケヒコ	㈱TRITON	㈱アプレヒまわり	㈱サクリオン九州	ヤマト運輸(株)	熊本県警察本部
いちよし証券(株)	長州産業(株)	ナガセプラスチェックス(株)	㈱平和堂	㈱シー・アイ・シー	ANAエアポートサービス(株)	広島県警察本部
SMBCフレンド証券(株)	テラル(株)	西日本フード(株)	㈱ホンダカーズ山口	総合警備保障(株)	㈱スターフライヤー	山口県警察本部
岡三証券(株)	㈱トップ	㈱日本アクセス	㈱ホンダプリモ光東	タイムズ24(株)	日本通運(株)航空事業部	宇部・山陽小野田消防組合
東海東京証券(株)	三浦工業(株)	㈱パイオン	㈱松山生協	東海警備保障(株)	関光汽船(株)	東京消防庁
東洋証券(株)	安田工業(株)	服部興業(株)	㈱丸久	広島総合警備保障(株)	グリーン SHIPPING(株)	
野村證券(株)	テンパール工業(株)	藤村薬品(株)	㈱マルナカ	UTホールディングス(株)	下関海陸運送(株)	

退任挨拶



私と下関市大の31年間

教授 川本 忠雄

私の31年間の在職は、前半22年と後半9年（法人化準備の2年を含む）に分かれる。

前半期の大学は小さいが珠玉であった。乏しい大学予算の中で、受験生は殺到し（ある年は倍率30倍弱で全国2位、NHKで全国報道）、学生の質も近隣の国公立を遙かに凌駕し、就職状況も驚愕すべき好実績であった。また学生数に対する教職員数は少なかったが、労働意欲は極めて高く、その結果、生産性は群を抜き民間ならば超優良黒字企業であった。それを可能にしたのは良き組織風土に尽きる。全員でよく考え相談し、一旦決定すれば、全力で協働するという職場環境である。また個人のモチベーションを重視し、自由闊達で活力ある教育、研究がなされていた。

法人化後、毎年、多くの有能な教員の転出が続く。瑣末な管理強化と皮相的な効率性・収益性の追求が、金の卵を産むガチョウを殺す愚に陥っていないか。全国的に大学が専門学校化し、本当に深く考える学生を育てていない様に思う。「人生に揺さぶりをかけ、自らの存立基盤を疑ってみる」教育の再生が必要であろう。奮闘を切に祈る。

退任挨拶



「住めば都」に向けて

教授 下田 守

下関市立大学に1983年春に着任する前に4年間、非常勤で教えていたので、小倉から下関に通う年月は今までの人生の半分を超えた。数学、統計、論理、環境など多様な科目を担当してきたが、最近の基礎演習では「身近な環境を考える」をテーマにしていた。

この基礎演習（身近な環境を考える）の授業では、天気の良い日に権現山などの近隣を歩くとともに受講生に各自のふるさとを紹介させた。初めのうちは同じ県内の名所などを挙げるだけで育った地域を具体的に語らない学生が多いが、下関の地を歩いて他所の出身者の話を聞くうちに次第にふるさとの特徴に気づき、具体的に語るようになる。どこにもあるつまらない田舎と思っていたふるさとが（問題はありつつも）特徴のあるかけがえのない地に見えてくる。

人についても同様で、何の取り柄もないと思っていた自分や周りの者が（問題はあっても）特徴のある存在であることに気づき得る。

そのような「住めば都」への気づきを目指してきたつもりだが、実りのほどは心許ない。ともあれ、口下手で不調法な者に辛抱強く付き合ってくださった学生・同僚の皆さんには心から感謝したい。

ゼミ対抗ディベート大会

国際商学科 3年 稲田 拓也

（島根県立三刀屋高等学校出身）

11月29日（金）に山川俊和ゼミ・吉弘憲介ゼミ・中川真太郎ゼミ合同でディベート大会を開催しました。私達中川ゼミは、「ユーロ共同債の是非」を議題にして山川ゼミの皆さんとディベートを行いました。私達は、ユーロ共同債導入に反対、山川ゼミの皆さんが賛成の立場で議論しました。

準備段階では、就職活動や大学祭の準備の合間を縫って、グループの全員が自主的に議題に関して学習しました。振り返ってみると、この「自主的」に行ったことが、本番でも自分達の力を普段通り出し、良いディベートが出来た要因であると私は考えています。とはいえ、準備段階はうまくいかないことの連続でした。メンバー同士の意見の対立や、ユーロ共同債についての調査分析がうまくいかず、本番間近は寝る間を惜しんで一日中ディベートの準備に没頭していました。

当日は大盛況となり、ディベート大会は成功を取めることが出来ました。このディベートを通して、私は皆で協力することによって大きな成功を掴み取ることができることを学びました。

最後に山川ゼミ・吉弘ゼミの皆様、関係された先生方、そして大学のご支援とご協力にこの場を借りて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



チームビルディング研修に参加して

国際商学科 2年 掛谷 尚史

（岡山県立岡山操山高等学校出身）

2月12日（水）に開催されたチームビルディング研修に参加しました。この研修は体験学習を通じてリーダーシップやチームビルディングについて学ぶものです。この研修から学んだことが二つあります。一つ目はリーダーとは他のメンバーに多大な影響を与えるということです。TM理論によると集団の目標達成のために口火を切ったり、メンバーの緊張をほぐすなどの役割もリーダーに求められているとされています。私は議論に参加できていないメンバーにスポットライトを当てる必要があるということが特に印象に残りました。

二つ目は、リーダーはメンバーの良いところを見つけ素直に伝える勇気を持つということです。実際には恥ずかしがって言いにくい時もありますが、言葉にしてこそ初めて伝わるので、これからは改めていこうと思いました。以上の二点を今後の大学生活に生かしたいと思います。



市民大学テーマ講座

准教授 難波 利光

（地域共創センター・地域教育活動部門長）

12月1日（日）に開催されたテーマ講座では、エスコート旅行-旅行という選択肢のある社会を作る-をテーマに、NPO法人しゃらく代表理事の小倉譲氏、サブマネージャの二星昭子氏にお話し頂いた。エスコート旅行とは、お客様が安心して旅行が楽しめるようにするために、専門の知識やスキルを持った者が旅行に付き添うという意味での「エスコート」を行うエスコート旅行を旅行弱者である高齢者や障害者に行うことである。

小倉譲氏の講演では、旅行起業の立ち上げのきっかけをお話し頂き、起業のご苦勞を聞かせて頂いた。また、実際に行っている旅の事例を聞くことにより、今日の高齢者や障害者の人らしく生きる機会を如何に創造しなければいけないのかという福祉社会のあり方も模索することができた。

二星昭子氏の講演では、石巻の古民家再生についてお話し頂いた。中でも、リフレッシュ旅行をきっかけとし、同じ日本に住む仲間として兵庫県のNPOにも東北の復興にできることを考え、旅行を通して古民家再生ができることを実践から私たちのできることを聞かせて頂いた。

エスコート旅行は、まだニッチな産業であるといえる。しかし、このような講座を行うことで、福祉社会に個人が積極的に参加することの意義を理解し、広く活動することができる環境整備をする必要性を感じた。



鯨資料室シンポジウム

准教授 吉弘 憲介

(地域共創センター・アーカイブ部門長)

10月19日(土)13時から、下関市立大学地域共創センター主催の第6回鯨資料室シンポジウムが開催された。今年度のテーマは「鯨類研究の最前線～イルカから大型鯨まで～」で、昨年度の歴史研究をテーマとしたものから、今年度は生態学中心の研究報告が行われた。下関海洋科学アカデミー鯨類研究室の石川創室長の司会の下、3名の外部講師により鯨類の生態学における最新の研究成果が発表された。

最初の報告は、長崎大学大学院、水産・環境科学総合研究科の天野雅男教授による「野生鯨類のフィールド研究と成果」についてである。2番目の報告は日本鯨類研究所調査研究部観測調査研究部の松岡耕二室長による「くじらは増えているか?—近年の調査結果から—」と題してなされた。最後に、日本鯨類研究所調査研究部海洋生態系研究室の田村力室長による、「捕獲調査から知るヒゲクジラ類の摂餌生態」についての調査報告がなされた。研究報告の後、一般からの質問を募ったが、学外からの数多くの参加者が来訪しており、活発な質疑がなされた。



「長府のまちづくり」の調査・体験ツアーを行いました

教授 水谷 利亮

(地域共創センター・地域調査研究部門長)

11月24日(日)に城下町長府界隈で、本学学生3名と地域共創センターの地域調査研究部門担当教員3名が「長府のまちづくり」の調査・体験ツアーを行いました。地域に関心のある学生に、土屋教授が関係してきた長府の地域づくり活動に関して実際に地域を歩き、見て、ヒアリング調査を行いながら現場で考える機会を提供することが目的です。

木村教授と土屋教授の解説のもと、街中調査として功山寺と長府博物館、忌宮神社、乃木神社、覚苑寺、長府藩侍屋敷長屋、乃木さん通りや人恋横町など中心商店街界隈を調査・散策し、ヒアリング調査では地域づくり団体の「Dynamo～長府もりあげ隊～」に話を聞きました。夜には、地域づくり事業として行われていた「彩りの城下町長府・秋」(ライトアップ)の視察で壇具川沿いの散策と長府庭園見学を行いました。

経済や文化、歴史、観光、地域づくりなど社会の多元的な要素をもつ長府など下関市内の「空間」は、市大生にとって貴重な学びの場所です。現場で学ぶ機会をより一層増やしていくことが求められています。



卒業論文の提出

教授 西田 雅弘

(副学部長)

1月28日(火)と29日(水)は卒業論文の提出日でした。本館5階の特設窓口に、今年度は415名が卒業論文を提出しました。

卒業論文は大学の勉強の集大成です。大学で何を学んだかは卒業論文を見れば分かります。そのため企業の採用人事担当者は、面接する学生の卒業論文に関心を示します。

論文は単なるレポートや感想文ではありません。客観的論拠と論理的推理がともなって初めて論文として万人共有の知的財産になります。「専門演習」ではこのような論文の基本を学びます。例外的に代替履修の余地もありますが、大学に入学したからには、是非とも卒業論文を書いて大学を卒業してください。



チューリップとパンジーの苗を植えました

エコキャンパス推進委員会では、春の卒業式と入学式を華やかに迎えるため、毎年11月中旬～下旬に花の球根や苗を植えています。今年は11月21日(木)の午後、学生有志と教職員の合計15名が協力して、チューリップとパンジーの植え付け作業を行いました。夏にゴーヤを植えていた土に新たに購入した土と肥料等を混ぜ合わせ、土づくりをしました。その土をプランターに入れ、苗を植えました。肌寒い中で、また学生の皆さんは授業の合間を縫っての作業でしたが、花の色の配置を考えたり、より根付きやすくしようとしたりするなど、意見を出し合い工夫をして、楽しそうに作業をしていました。冬の寒さを乗り越え、春にきれいな花を咲かせ、式典に花を添えてくれるよう、皆さんも見守っててください。



日本の思い出

平成 25 年度特別聴講学生 朴 珍英
(韓国・東義大学校)

約 1 年の留学期間を振り返ってみると、私も知らず知らずに日本に関する様々な知識を得て驚くほど会話力も上達したことに気付いた。それは私の周りの先生や友達のおかげだと思う。自分が努力するのは当然だが、周囲に助けしてくれる人がいなかったら私が間違っていて覚えた日本語を正すことはできなかっただろう。

私は周囲の多くの人たちがうるさく感じるくらいたくさん質問をしたと思うが、みんなは面倒くささらず、いつも笑顔で答えてくれた。だから私は日本での生活を順調に過ごすことができた。

また、あちこち日本国内の旅行もした。新幹線に初めて乗って大阪と京都へ行ったり、福岡や角島など日本の地方の楽しさも体験した。だから寮にいる時間は少なかった。その結果、私は日本に何年も住んでいる人と同じくらいたくさんのお宝を 1 年間で得ることができた。

日本にきて本当によかった。多くの良い人々との出会いがあり嬉しかった。下関と釜山は近いのでいつでも遊びに来ることもできると思う。感謝すべき人がたくさんいるが、これが最後の別れではなく、今後ずっと連絡を取り合いながら交流を深めて行きたい。



一生の友と出会えたオーストラリア留学

平成 24 年度クイーンズランド大学派遣留学生
国際商学科 4 年 廣瀬 友也
(徳島県立城南高等学校出身)

2013 年 2 月から約 1 年オーストラリアのクイーンズランド大学に交換留学しました。最初の 20 週間は大学付属の語学学校で勉強をし、後期は大学で経済学を勉強しました。語学学校は、1 クラス 15 名くらいの少人数制で多国籍の学生で成り立っています。アジアの国々だけではなく、南米やロシア出身の学生もいました。これらの学生と勉強だけでなく、一緒にバーベキューなどをして友好を深め、充実した生活を送ることができました。

後期の大学での経済学の勉強は困難を伴うものでした。ネイティブの学生と課題を行うときも、自分の語学力に劣等感を感じることがありましたが、彼らが進んで助けてくれました。伝えようとする意志があれば、彼らは優しく接してくれるため、打ち解けることが出来ます。最終的には無事に経済学の試験にも合格しました。

また、勉強以外でも野球部の練習に参加したり、大学の宗教クラブに参加したりして多くの友人を作ることが出来ました。留学をして英語力が上がったことにも満足していますが、帰国後も連絡を取れる友人を作ったことが一番の財産です。



なぜ休学してまで世界一周したのか？

国際商学科 4 年 岡本 和樹
(山口県立大津高等学校出身)

私は一年間大学を休学してボランティア活動をしながら世界一周をしました。なぜ世界一周しようと思ったのか？理由は簡単です。世界を見てみたかったから。テレビやインターネットで簡単に情報が手に入るようになった現在ですが、私は「実体験」こそが大切だと思っています。その場所の雰囲気は実際に行ってみないと分からないし、そこで生活してみても感じることも、考えることは想像以上にたくさんある。そういった実体験こそ価値があるのではないかと。そう思い日本を飛び出しました。

実際はどうだったのか？世界には多様なバックグラウンドを持った人たちがたくさんいて、彼らと交流することで多くの価値観や考え方を学びました。日本という枠を超えて物事を捉えられるようになったことが、世界一周で得た一番の収穫だと思っています。



本場の餃子を作り、良い日中関係を守る

経済学科 1 年 楊 嵩
(中国・黒竜江省出身)

1 月 13 日(月)に開催された、第 6 回餃子パーティは順調に終わりました。中国では、年越しに餃子を食べる習慣があります。日本で言ったら年越しそばのような感じです。餃子の“交”という字には、古い年と新しい年が交わると言う意味があり、“子”は子の刻(午前 0 時)と言う意味があります。また、餃子を食べるのは「更歳交子」となり、喜び、団欒、縁起が良いという意味になります。今回は、留学生、市民の方、そして日本人学生たち約 40 人が参加しました。皆さんの満足そうな笑顔は私たちがこの行事を続けて行くための原動力になります。また、関係各位と自主サークル「中国語しゃべっちゃイナ」のスタッフたちのご協力に感謝しています。

最後に、新しい一年で、日本と中国の関係が良くなるように祈るとともに、民間交流についても一層仲良くやっていくよう願っています。



酒造りから日本の伝統文化を味わう

経済学科 1 年 浦 迪豪
(中国・江蘇省出身)

日本酒の文化に関する講座を 4 回受講しました。この 4 回の講座を通して、現代の日本の若者も知らない日本酒の造り方や成り立ち、歴史とのかかわりが少しずつわかるようになりました。この活動をきっかけに、色々な国からきた留学生達と一緒に日本酒を味わいながら、日本という国が昔から積み重ねている文化をさらに理解することができました。ユーモアを交えながら下関酒造の内田社長は生き活きと日本酒の造り方や文化を紹介してくださいました。

日本酒をきっかけにして、みんなが母国の特徴を挙げて比較

をしたことで、日本と母国の違いだけでなく第三国の異文化理解と交流にもなりました。

最も印象深いのは内田社長の「優れた日本酒を造るためには何が必要か」という質問でした。答えは「米」、「水」そして「心」でしたが、特に「心」という言葉が日本酒の特異な性格を反映しているでしょう。ぜひ、みなさんも参加して思いもよらない知識を身につけましょう。そして、私のように「日本酒マイスター」になりましょう!



留学生送別会を終えて

国際交流会ともだち部長
国際商学科 2年 長尾 蛍
(福岡県立門司学園高等学校出身)

1月24日(金)国際交流会ともだちが主催して留学生送別会を行いました。今回帰国する留学生たちとは、国際交流会ともだちのサークル活動だけでなく、個人的にも留学生チューター活動を通して仲良くなり、多くの思い出ができました。今回の留学生送別会開催にあたり、そんな大切な友人である留学生のみなさんに最後にもう一度楽しい思い出を作ってもらおうと、準備を進めました。

当日はたくさんの留学生が参加したほか、多くの来賓の方々や先生方にお越しいただきました。短い時間ではありましたが留学生挨拶や下関市親善大使任命式、ミニアカベラライブ等、歓談をはさみながらそれぞれ交流を楽しみました。

今回の送別会は私たち2年生が主体となって行う初めての学内行事で、未熟な面が多く準備や段取りにおいて反省点が多く残りました。4月の歓迎会ではこの反省を活かして、新入留学生を明るく迎えてあげたいと思います。



コリアンスピーチ大会を終えて

コリアンスピーチ大会実行委員会 委員長
国際商学科 2年 河村 二紀
(サビエル高等学校出身)

11月20日(水)に下関市立大学コリアンスピーチ大会も無事に第9回目を終えることができました。今大会に関わってくださったみなさまに厚く御礼申し上げます。今年の大会は、中学生から社会人まで総勢31名の方々に出場していただきました。例年よりも学外からの参加者が多く、実行委員長としてとてもうれしく思います。このスピーチ大会を準備、企画した実行委員会のメンバーにとっても大変有意義であり、感慨深い経験となりました。

コリアンスピーチ大会は朝鮮語を通じてより多くの方々に「韓国文化」や「日韓の歴史的背景」などを知るとともに、「韓国」に関心をもっていただくために開催しています。政治的、歴史的には複雑で難しい問題が2国間に立ちはだかつており、韓国を遠くに感じる人

も少なくないと思います。だからこそ、距離的に韓国に近いこ下関でコリアンスピーチ大会を毎年開催し、多くの人に「韓国」や「朝鮮語」等に興味を持ってもらいたいと強く思います。そして、この大会がほんの少しでも日韓の架け橋になることを願っています。



第5回中国語スピーチコンテスト

中国語しゃべっチャイナ副リーダー
国際商学科 2年 伊特格楽
(中国・内モンゴル自治区出身)

12月1日(日)に下関市立大学にて自主サークル「中国語しゃべっチャイナ」実行委員のもと、第5回中国語スピーチコンテストを開催しました。

今年も「朗読の部」、「暗誦の部」、「弁論の部」を設け、本学、そして下関市内の小中学校や梅光学院大学、山口県立大学等からのべ26名の出場者がそれぞれの部で日頃の学習成果を発表しました。

私たち「中国語しゃべっチャイナ」全員が、このスピーチコンテストによって日本の皆様に中国語の魅力を紹介したいと強く思っています。また、参加者のみなさんの素晴らしい発表を聞き、とても感動すると共に、ご協力いただいた企業の皆様、日中友好協会、大学の教職員の皆様に心より感謝しております。

私たちは今後も、より良いスピーチコンテストを開催するために一生懸命努力いたします。来年も是非ご協力を宜しくお願いいたします。



日本語スピーチコンテストを開催して

日本語スピーチコンテスト実行委員会 委員長
国際商学科 4年 佐々木 勇介
(岡山県立倉敷古城池高等学校出身)

12月24日(火)に日本語スピーチコンテストを開催し、13名(下関市立大学10名、東亜大学3名)の留学生が出場しました。どの発表者も素晴らしいスピーチを披露し、審査にも時間を要しました。また、当日は多くの方が足を運んでくださり、大変盛り上がりました。審査の合間には留学生による歌の披露があり、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。

今回のコンテストは、多くの関係者の方々のご支援とご協力により成功しました。そして、実行委員長を務めることで、企画から運営まで行うことの大変さとやりがいを感じると同時に大変勉強になりました。

実行委員会を立ち上げて日本語スピーチコンテストを開催するのは今回が初めてだったため、改善や反省をすべき点が多々ありました。これらを今後活かし、継続的に出場者や地域の方々にも日本語と日本文化の奥深さに触れていただくことができるコンテストを開催していきたいです。



平成25年度 秋季大会成績

サークル名	大会名	種目名	成績	選手名
準硬式野球部	平成 25 年度 中国地区準硬式野球秋季大会		優勝	
軟式野球部	西日本地区学生軟式野球秋季 1 部リーグ戦		4 位	
硬式テニス部	平成 25 年度 秋季下関・北九州インカレテニス大会	男子団体	準優勝	
		男子個人 シングルス	優勝	藤田 悠介
		男子個人 ダブルス	優勝	中溝 宏司・藤田 悠介
		男子個人 ダブルス	準優勝	永海 豪・下野 幸翔
		女子個人 シングルス	優勝	瀬戸口 詩織
		女子個人 シングルス	準優勝	森桶 愛叶
		女子個人 ダブルス	優勝	瀬戸口 詩織・森桶 愛叶
		男子ダブルス 二年生の部	優勝	藤田 悠介(他大学との合同チーム)
		男子ダブルス 三年生の部	ベスト 4	永海 豪・下野 幸翔
		男子 二部リーグ	4 位	
ソフトテニス部	山口県学生ソフトテニス選手権大会	男子団体	ベスト 4	
		男子個人 ペア	ベスト 4	大河 晃・峰岡 卓也
サッカー部	2013 年度 中国大学サッカーリーグ 2 部 A ブロック	女子個人 ペア	ベスト 4	香妻 貴絵・倉 未咲
			5 位	
			5 位	
女子バスケットボール部	平成 25 年度 山口県学生バスケットボール秋季大会	I 部	8 位	
	2013 年 全日本大学バスケットボール選手権大会中国地区予選会	II 部	5 位	
男子バレー部	平成 25 年度 北九州・下関地区大学バレーボール大会		準優勝	
	平成 25 年度 山口県大学高専学生バレーボール戦秋季大会		ベスト 8	
ハンドボール部	平成 25 年度 中四国学生ハンドボール秋季リーグ戦	3 部	2 位	
陸上競技部	第 36 回 中国四国学生陸上競技選手権大会	男子 800m	7 位	丸山 裕生
		女子 100m	7 位	村上 伊代
空手道部	第 60 回 北九州・下関地区大学体育大会(秋季) 空手道競技	個人型	3 位	堀田 洋史
紫電流空手道部	2013 紫電流空手道選手権大会	一般成年の部	準優勝	大久保 剛
		大学生の部	準優勝	大久保 剛
		一般女子の部	準優勝	喜多村 美沙
弓道部	秋季山口県内リーグ	男子団体	3 位	
		男子個人	3 位	野口 翔太
		女子個人	優勝	山本 咲
	第 22 回 山口放送旗西日本弓道大会	男子団体	3 位	
		女子団体	3 位	
	第 59 回 中四国学生弓道選手権大会	女子個人	4 位	平井 朝水
		男子団体	決勝進出 9 位	

サークル紹介

秋季中国地区制覇を踏み台に、
全国ベスト8へ!

準硬式野球部

私たち準硬式野球部は全国大会での活躍を目標に活動しています。昨年は北九州・下関インカレと秋季中国地区リーグ戦の2大会で優勝を成し遂げました。野球が大好きな人、大歓迎です!グラウンドで待っています!



声だけでハーモニーを!

アカペラサークル A cappel*love

私たちは大学祭をはじめとして、学内での夏、冬ライブ、また福岡や長崎など様々な場所で活動しています。昨年も福岡や山口市でのライブ、また馬関祭、地域のステージをお借りしてのライブなど、多くの活動を行いました。



学生団体新役員紹介



第 10 代学生会執行部

会 長 藤 恵 万里奈 (公共マネジメント学科 3 年)
副 会 長 工 藤 昌也 (国際商学科 3 年)
会 計 局 長 阿 南 京平 (経済学科 2 年)



第 39 代体育会

会 長 鈴 木 優磨 (経済学科 3 年)
副 会 長 河 村 涼太郎 (公共マネジメント学科 3 年)
書 記 長 梶 谷 侑生 (経済学科 2 年)



第 30 代文化会

会 長 柳 原 真次 (公共マネジメント学科 3 年)
副 会 長 橋 本 忠明 (国際商学科 1 年)
書 記 里 雄也 (国際商学科 3 年)



第 53 回大学祭実行委員会

委 員 長 田 村 隆太郎 (公共マネジメント学科 2 年)
副 委 員 長 吉 井 美咲 (経済学科 2 年)

2014年度入試結果

11月23日(土)及び12月21日(土)、本学において2014年度推薦入学、特別選抜(帰国子女・社会人)、第3年次編入学、外国人留学生選抜を実施しました。

	入試区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
							全国
経済学科	推薦入学	全国	27	63	63	2.2	
		地域	A B	29	41	41	30
	帰国子女	2	0	-	-	-	
	社会人	2	0	-	-	-	
	留学生	若干名	20	19	7	2.7	
	編入学	8	25	20	9	2.2	
国際商学科	推薦入学	全国	27	44	44	31	1.4
		地域	A B	29	36	36	29
	帰国子女	2	0	-	-	-	
	社会人	2	2	2	2	1.0	
	留学生	若干名	31	31	12	2.6	
	編入学	8	23	21	13	1.6	
学科 公共マネジメント	推薦入学	全国	7	14	14	9	1.6
		地域	B	8	9	9	8
	帰国子女	1	0	-	-	-	
	社会人	1	0	-	-	-	
	留学生	若干名	0	-	-	-	
	編入学	4	7	6	4	1.5	

行事記録(平成25年11月~平成26年2月)

平成 25 年	11 月 9 日	酒造りから学ぼう日本文化 !!
	14 日	学内合同業界研究会(15・18・19 日)
	20 日	第 9 回コリアンスピーチ大会
	21 日	インターシップ報告会
	23 日	推薦・特別選抜(帰国子女等・社会人)・編入学入試
	30 日	市大キャリアスタディ
	12 月 1 日	第 5 回中国語スピーチコンテスト・テーマ講座
	3 日	推薦・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試合格発表
	5 日	FD フォーラム
	21 日	外国人留学生選抜
	24 日	日本語スピーチコンテスト
		冬季休業(~ 1 月 5 日)
	29 日	一斉休業(~ 1 月 3 日)
平成 26 年	1 月 6 日	授業再開
	17 日	大学入試センター試験準備(全学休講)
	18 日	大学入試センター試験(~ 19 日)
	24 日	外国人留学生選抜合格発表
	28 日	卒業論文提出(~ 29 日)
	30 日	秋学期定期試験(~ 2 月 6 日)
	2 月 12 日	チームビルディング研修
	25 日	一般選抜(前期日程)